

主題講義 II 「こどもとメディア」実施報告

— 3日間の講義の概略 —

親松 和浩、太田 浩司

2006年8月7日(月)～9日(水)に「こどもとメディア」というタイトルで、ワークショップ、科学リテラシー、メディアリテラシーをキーワードにして、以下のような構成で主題講義 II を実施しました。

I. メディアを使ったワークショップ (8月7日)

上田信行先生 (同志社女子大学現代社会学部こども学科教授)

II. 科学リテラシーとメディア (8月8日)

(1) NHK 教養教育番組制作の実情

小田茂一先生 (現代社会学部教授、元 NHK プロデューサー)

(2) 科学コミュニケーション

横山広美先生 (総合研究大学院大学シニア研究員、サイエンスライター)

(3) 江戸時代の学びのメディア

鳴海風先生 (作家:「円周率を計算した男」で日本数学会出版賞受賞、エンジニア:
(株)デンソー)

III. メディアリテラシー (8月9日)

河野幸男先生 (中京テレビ番組審議室調査役)

講義内容については、各先生にまとめていただいた記事をご覧ください。

大学院講義なのでディスカッションにゆったりと時間を取れるように参加者数は 10 名程度と想定していました。履修登録者数は想定通りでしたが、大学院生や学部学生だけでなく教員にも聴講希望者があり、特に初日の参加者は 20 名以上と大盛況でした。講義終了後にその日の感想を参加者に書いてもらいましたが、どの日も満足度が高く充実した 3 日間となりました。

この主題講義には、東京大学大学院情報学環水越伸先生、現代社会学部非常勤講師宮原美佳先生、現代社会学部長五島幸一先生、大学院メディアプロデュースコース主任大西誠先生、現代社会学部小川明子先生にもご参加いただき、講義がさらに充実したものになりました。この場を借りて御礼申し上げます。